

電子計算機プログラミング

第1回シンポジウム報告集刊行について

数理科学の総合研究第4班では、昭和35年1月10日から12日まで、電子計算機プログラミングに関するシンポジウムを開き、5部会でそれぞれの中心課題について報告し合い、討論をした。会するもの約60名で、終始熱心な活潑な研究討論の気がみなぎっていたことは、はじめての試みでありながら、末頼もしい思がした。

アメリカヨーロッパにおける研究よりはやや出足が遅かったのであるが、わが国の電子計算機の実動数が急に増し、それを使うことの研究も方々ではじまり、またそれを使つた研究もおいおい多くなつて来た現在、その活用に役立つ研究が非常に大切なことになつて来たので、総合研究のなかの一つの主要題目として取りあげられているわけであつて、全国から関係する研究者がよつて報告討論をして、問題の具体的な所在を明かにし、これからの研究方向を互に認識し合つて研究を盛にすることが今回のシンポジウムの目標であつた。幸にしていろいろの専門分野の研究者が一堂に会して、それぞれの立場から論じ、むしろ充実しすぎたとの感想さえ述べられるような盛会であつたことは、主催者として将来の再開を企てなければならぬと語りあう結果をも生んだ。閉会后第4班の運営委員会において、この報告書を取りまとめて広く知つて貰うことが将来のために必要であるとして、この報告書を取りまとめることとなつた。

上に述べたようなわけであるから、この報告集は、電子計算機を使う人々にとってはもとよりのことであるが、電子計算機それ自体の研究、製作設計する人々にとつても極めて有益な内容を持つている。

今回のシンポジウムに当つて、各分科会長、委員各位の熱心な協力に感謝するが、さらに幹事団の長期にわたるかげの努力には殊に深く感謝する次第である。この報告集をまとめるに当つても大変な努力をされていることを承知しているので、ここに重ねて感謝する。またわれわれの

研究を進めて行っている間の各方面から寄せられた好意，殊にプログラミング懇談会の協力，日本電子工業振興協会の好意に対して，また会場，事務局などかげにあつて賜つた数々の好意協力に対しても，ここに心から感謝の意を表する。

昭和35年2月

数理科学の総合研究

第4班班長

山 内 二 郎

本 PDF ファイルは 1960 年発行の「第 1 回プログラミング-シンポジウム報告集」をスキャンし、項目ごとに整理して、情報処理学会電子図書館「情報学広場」に掲載するものです。

この出版物は情報処理学会への著作権譲渡がなされていませんが、情報処理学会公式 Web サイトの https://www.ipsj.or.jp/topics/Past_reports.html に下記「過去のプログラミング・シンポジウム報告集の利用許諾について」を掲載して、権利者の検索をおこないました。そのうえで同意をいただいたもの、お申し出のなかったものを掲載しています。

過去のプログラミング・シンポジウム報告集の利用許諾について

情報処理学会発行の出版物著作権は平成 12 年から情報処理学会著作権規程に従い、学会に帰属することになっています。

プログラミング・シンポジウムの報告集は、情報処理学会と設立の事情が異なるため、この改訂がシンポジウム内部で徹底しておらず、情報処理学会の他の出版物が情報学広場 (=情報処理学会電子図書館) で公開されているにも拘らず、古い報告集には公開されていないものが少からずありました。

プログラミング・シンポジウムは昭和 59 年に情報処理学会の一部門になりましたが、それ以前の報告集も含め、この度学会の他の出版物と同様の扱いにしたいと考えます。過去のすべての報告集の論文について、著作権者（論文を執筆された故人の相続人）を探し出して利用許諾に関する同意を頂くことは困難ですので、一定期間の権利者検索の努力をしたうえで、著作権者が見つからない場合も論文を情報学広場に掲載させていただきたいと思えます。その後、著作権者が発見され、情報学広場への掲載の継続に同意が得られなかった場合には、当該論文については、掲載を停止致します。

この措置にご意見のある方は、プログラミング・シンポジウムの辻尚史運営委員長 (tsuji@math.s.chiba-u.ac.jp) までお申し出ください。

加えて、著作権者について情報をお持ちの方は事務局まで情報をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

期間：2020 年 12 月 18 日～2021 年 3 月 19 日

掲載日：2020 年 12 月 18 日

プログラミング・シンポジウム委員会

情報処理学会著作権規程

<https://www.ipsj.or.jp/copyright/ronbun/copyright.html>